

# くらしのパートナー

## 給湯器・ガスの点検商法が多発！ ～訪問販売はクーリング・オフできます～

**事例** 昨日、突然「ガスの点検です」と言って作業員が自宅に来た。契約しているガス会社の委託業者だと思って点検してもらおうと「ガス管が錆びていて危険だ。給湯器の交換と浴室のリフォーム工事が必要だ」と言われたため約200万円の契約書にサインした。甥が調べたらガス会社とは無関係な業者だった。キャンセルできるか。

昨年から、事例のような相談や問い合わせが続いています。ガス会社の関連業者のような口ぶりで作業員が訪問してきますが、実際は無関係な訪問販売業者です。点検すれば「ガス器具や配管が劣化している」「修理しないと危険」と、不安をあおって給湯器の交換や配管工事、修理保証サービスなどを勧めます。消費者は早く修理しなければ危険だと思って契約しますが、本当に危険だったのかどうか疑問です。なかには、洗面所や台所のリフォーム工事を勧められた事例もあります。

突然自宅を訪問されて契約した場合は、契約書等の法定書面をもらってから8日間はクーリング・オフができます。期間内にクーリング・オフ通知を送れば無条件で契約を解除できます。通知は、はがきや電子メール、SNSで送れますが、通知した記録を残すことが重要です。はがきはコピーをとってから、郵便局に行って特定記録郵便で送ります。相手先をまちがえないように、特に電子メールは、相手のメールアドレスをよく確認してください。

送信記録やスクリーンショットも保存しましょう。契約書を受け取っていない場合や不備がある場合は、8日間を過ぎててもクーリング・オフできることがあります。

ただし、代金を払った後では、返金せずに連絡を絶つ事業者もいます。知らない事業者を家に入れないこと、不安をあおられても急いで契約せず、家族や知人、消費生活センターに相談することが大切です。

通知書	
私は貴社と次の契約をしましたが解除します	
契約年月日	令和〇年〇月〇日
商品名	〇〇〇〇
契約金額	〇〇〇〇円
販売会社	株式会社 ×××× 〇〇支店 担当者 △△△△
令和〇〇年〇月〇日 東京都文京区〇町〇丁目〇番〇号 氏名 〇〇〇〇	



イラスト: まつなが もえ

# 「マイエシカル消費を見つけよう」

公益財団法人 消費者教育支援センター  
副主任研究員 河原 佑香 氏

## ● エシカル消費ってなに？

皆さんは「エシカル消費」という言葉をご存じですか？

「エシカル(Ethical)」は「倫理的・道徳的」という意味を持ち、「エシカル消費」は人・社会・地域・環境に配慮した消費行動を指します。この概念は1980年代のイギリスから広まり、日本でも近年関心が高まっています。地産地消やフェアトレード商品をはじめとする「エシカル消費」に関連する国内の市場規模は、2022年時点で8兆円超にまでのぼりました\*<sup>1</sup>。

## ● どうして「エシカル消費」が求められているの？

エシカル消費が近年注目を集めているのは、気候変動や海洋汚染、途上国の貧困や児童労働などの深刻化する社会問題と消費行動とが深く関わっているからだといえます。あまり想像がつかないかもしれませんが、ここでは、身近な「衣服」を例に消費行動と社会問題の関わりを見てみましょう。

### 身近な「衣服」から消費行動の影響を考える

日本国内の衣服の供給量は、2022年時点で年間約35億点以上。1990年代の2倍の量に増えています。対して1着あたりの価格は下落しています。企業が大量の衣服を作り、より安い価格で消費者に販売される傾向があります。流行や季節にあわせて手ごろな価格の衣服を購入する消費行動が、こうした生産を後押ししていると考えられるでしょう。

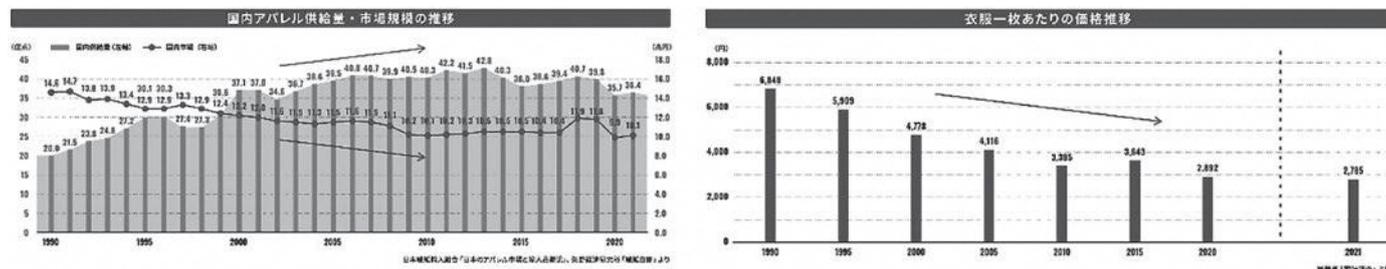


図1 国内アパレル供給量・市場規模・衣類の購入単価の推移\*<sup>2</sup>

\* 1 エシカル市場規模調査実行委員会「日本初のエシカル市場規模調査」(2024年10月)  
<https://www.jeiic.org/wp-content/uploads/2024/11/unnamed-file.pdf>

\* 2 環境省「サステナブルファッション」  
[https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

では、こうした衣服の大量生産・大量消費は、社会にどのような影響を与えているのでしょうか？

●環境への影響

右図のとおり衣服は、多くの資源を利用しながら製造され、大量に作れば、それだけ環境負荷も大きくなります(図2)。生地染色などの製造過程で使用される化学物質が生産地の**環境汚染**に引き起こすといった問題も発生している場合があります。



図2 環境省公表資料「生産時における産業全体の環境負荷」

●働く人への影響

日本で販売される衣服の生産は、およそ9割が海外に依存しています。消費者に見えないところで、誰かが犠牲になっていることもあります。

2013年、バングラデシュにおいて、大手ファッションブランドの製造委託先の縫製工場が崩壊し1,100名以上の労働者が犠牲となる凄惨な事故が起こりました。安価な製造を追求するため設備費や人件費が削減され、過酷な状況で生産が行われていたことが判明し、その後**アパレル産業全体の労働環境が問題視**されるようになりました。

衣服に限らず、私たちが普段消費する商品やサービスは、人や社会、環境に深刻な問題を生じさせながら作られているかもしれません。そして、私たちの消費行動が問題の進行を後押ししてしまうこともあります。こうした問題に対し、**私たち一人ひとりが社会への責任を持ち、消費行動の影響を考えた「エシカルな選択」を積み重ねていくことが求められている**のです。

●「マイエシカル消費」を見つけよう！

エシカル消費の対象や行動の選択肢はさまざまで、全て実践するのは難しいでしょう。そこで自分の価値観やライフスタイルに合わせて、取り組みやすいことから始めてみるのが大切です。

エシカル消費の行動例

人・社会への配慮	地域への配慮	自然環境への配慮
<input type="checkbox"/> フェアトレード商品をえらぶ <input type="checkbox"/> 寄付つきの商品を選ぶ <input type="checkbox"/> 障がい者雇用につながる商品をえらぶ	<input type="checkbox"/> 地産地消 <input type="checkbox"/> 地元の商店街で買い物をする <input type="checkbox"/> 被災地の支援につながる商品をえらぶ	<input type="checkbox"/> 資源保護の認証がある商品をえらぶ <input type="checkbox"/> マイボトルやマイバッグを利用する <input type="checkbox"/> 省エネルギーをこころがける <input type="checkbox"/> モノを長く使いつづける

エシカル消費に関する市場が拡大する背景には、企業が生産方法等を見直す動きが増えていることがあげられます。企業が公表する情報や、人や環境に配慮して作られた商品に付与される認証ラベル(図3)を参考に商品を選ぶことで、企業の取組みを後押しできます。

多くの人々が協力し合いながら「エシカル消費の輪」を広げることで、人や環境にやさしい社会の実現へとつながっていきます。できることから、はじめてみましょう。



国際フェアトレード認証ラベル

図3 認証ラベルの例

令和7年度 文京区 消費生活研修会

# 風呂敷マジック！ 第2弾

## ～楽しく包む・結ぶ・使う～

買い物袋にしたり、プレゼントのラッピングにしたり、1枚で様々なものに応用できる風呂敷の活用の実習と講座により、風呂敷だからできるエシカルな生活を学びます。

●費用	無料
●日時	令和7年4月20日(日) 午前10時30分から12時30分まで
●会場	産業とくらしプラザ研修室(文京シビックセンター地下2階)
●対象	区内在住/在勤/在学の方
●定員	30人(抽選)
●講師	むす美 山田悦子 氏
●主催	文京区
●申込期間	3月10日(月)から4月7日(月)まで(郵送は4月4日(金)必着)
●問合せ先	文京区消費生活センター 〒112-8555 文京区春日1-16-21 文京シビックセンター地下2階 電話 03-5803-1105 平日 8:30~17:00



### 文京区消費生活センター

〒112-8555  
東京都文京区春日1-16-21  
文京シビックセンター地下2階  
TEL 03-5803-1105 / FAX 03-5803-1342  
**相談専用 TEL 03-5803-1106**  
受付時間 9:30~16:00 (月~金 ※祝日・年末年始を除く)

### 文京シビックセンター 最寄駅

- 地下鉄  
東京メトロ丸ノ内線・南北線  
⇒後樂園 下車  
都営三田線・大江戸線  
⇒春日 下車
- 都営バス  
⇒春日駅前 下車
- 文京区コミュニティバスB-ぐる  
⇒文京シビックセンター下車

